

かごしまの食育

～地産地消を基本とした健康で豊かな食生活の実現のために～

鹿児島県ならではの豊かな食文化や農林水産業を生かして、かごしま版食事バランスガイドの普及啓発や、郷土料理等の継承推進、農業体験等の取組への支援など、ライフステージに合わせた、県民の健康で豊かな食生活の実現を図っています。

また、子どもたちに対する食育を促進するため、食育支援体制を通じた体験活動への支援や食育に携わる指導者等を対象にした「食と農の指導者研修」を実施しています。



市町村等の取組支援
(小学校での農業体験)



食と農の指導者研修
(左:取組事例の紹介, 右:農業体験を通じた生産者との交流)



若い世代への県産食材の理解促進

～かごしまの食未来プロジェクト～

若い世代への県産食材の理解促進を図るため、学生等を対象に県産食材の新たな活用方法や効果的なPR方法等のアイデアを募集し、その実践を支援する「かごしまの食未来プロジェクト」を実施しました。県内9校から28件の応募があり、書類審査を経て3件のアイデアを採択し、専門家のアドバイスのもとアイデアの実現に向けた学生たちの取組を支援しました。

アイデア名	「かのや姫小豆」ちゃん物語	鹿児島給食占拠 ～旧食からNEW食へ～	Diffuchar ～ディフューザー×鹿児島茶～
提案者	鹿屋農業高等学校 生徒 (グループ)	神村学園高等部 生徒 (グループ)	志学館大学 学生 (グループ)



高校で栽培した小豆と紅はるかを組み合わせたスイーツレシピを開発・PR
(鹿屋農業高校)



県産食材を活用した学校給食の献立を考案。食材の生産現場を紹介する動画を制作
(神村学園高等部)



学生企業家と連携し、お茶のディフューザーを開発・PR
(志学館大学)



プロジェクトの取組成果を発表